

## 「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の 顕著な普遍的価値及び構成資産に関する 提言書

平成 24 年 8 月

「宗像・沖ノ島と関連遺産群」専門家会議

## 1. 世界遺産の登録審査をめぐる状況

- 世界遺産とは、国や地域的に重要なだけでなく、国境を越えて人類全体が共有すべき顕著な普遍的価値（OUV）を有する資産である。世界遺産の登録では OUV を証明する必要があるが、近年、登録審査が厳しくなっている状況から、より明確な OUV の主張が求められる。
- 直近の例では、平泉の世界遺産登録において、平泉文化を支えた奥州藤原氏の政治拠点として重要と考えられていた「柳之御所遺跡」（国指定史跡）が、OUV の中心である「浄土教の日本への影響」との直接的な関連性が薄いとイコモス（国際記念物遺跡会議）から指摘され、その結果構成資産から除外された。このことを鑑みても、登録においては OUV と構成資産の関連性を明確に示すことが必要である。

## 2. 本資産の顕著な普遍的価値（OUV）の概要

- 九州と朝鮮半島間の海域に位置する沖ノ島では、中国大陸および朝鮮半島との交流の成就を願う国家的祭祀が 4 世紀後半から 9 世紀末にかけて行われた。国際色豊かな品々を含む約 8 万点の遺物は、ヤマト王権及びその後の律令国家が沖ノ島祭祀に強く関与した事実と中国大陸・朝鮮半島との交流の歴史を如実に証明している。沖ノ島での祭祀を奉斎した胸形君を中心とする海の民は、九州本島から朝鮮半島に向かう海の道「海北道中」を守る宗像三女神を生み出し、沖津宮、中津宮、辺津宮の三宮からなる島伝いの壮大な宗像神社を成立させた。

本資産は、日本における国家形成期以降の 500 年間にわたる祭祀の変遷過程を確認できる資産であり、東アジア世界において海を介した古代祭祀のあり方が規模・内容ともに最もよく保存されている唯一の例である。

## 3. 本資産の構成資産

- 現時点での構成資産候補は、日本国内で考古学的な価値を十分に有していることは疑いないが、世界遺産登録においては、沖ノ島祭祀を中心とする本資産の OUV を明確に証明する必要があり、そのために必要な構成資産が過不足なく網羅され、かつそれぞれの資産が真実性と完全性を満たしていなければならない。これらの観点から専門家会議で検討を行った結果、以下の資産で推薦書の作成に入ることが適当であると考える。

### (1) 沖ノ島

朝鮮半島と九州の間に位置し、4 世紀後半から 9 世紀末まで、対外交流の成就と航海の安全を祈って国家的祭祀が行われた島である。島の中腹の巨岩群では 23 ヶ所の祭祀遺跡が確認され、発掘調査で出土した約 8 万点の遺物は国宝に指定されている。国家形成期以降の 500

年間にわたる祭祀の遺跡が良好に保存されており、日本における古代祭祀の変遷過程を示す貴重な資産である。

## (2) 宗像神社

沖ノ島の沖津宮、大島の中津宮、九州本島田島の辺津宮の三宮からなる神社である。沖ノ島祭祀を起源として、「海北道中」を守る「道主貴（みちぬしのむち）」と称された宗像三女神を祀る島伝いの壮大な三宮の神社へと発展をとげた特異な資産である。

## (3) 津屋崎古墳群（新原・奴山古墳群）

津屋崎古墳群は、沖ノ島での祭祀を奉斎した胸形君を中心とする海の民が、5世紀前半から7世紀中頃に南北8km、東西2kmの範囲に築いた計60基の古墳群である。その中で、5世紀前半から6世紀後半にかけて築造され、前方後円墳5基、円墳35基、方墳1基の計41基からなる新原・奴山古墳群は、海を望む台地に築造されており、沖ノ島祭祀を発展させた古墳時代の宗像において、「海北道中」を支配した海の民の集団のあり方を最もよく表象するものである。

## 4. その他

- OUVとの関連性や保存管理等の観点から構成資産に含まれない資産も、構成資産との歴史的関連性があるものは推薦書の記述の中で紹介し、国と地元の責任において世界遺産と一体のものとして保存・活用することが必要である。
- 本資産の名称については、本資産が持つ価値を表現するのにふさわしい名称となるよう推薦書提出までに検討していくものとする。

## (添付資料)

「宗像・沖ノ島と関連遺産群」構成資産一覧表

「宗像・沖ノ島と関連遺産群」構成資産一覧表

暫定リスト記載時  
(平成21年1月5日)

第1回専門家会議  
(平成21年6月17日)

第7回専門家会議  
(平成24年6月18日)

構成資産候補		構成資産候補		構成資産
・沖ノ島	→	・沖ノ島	→	・沖ノ島
・宗像神社境内		・宗像神社境内		・宗像神社
沖津宮	→	沖津宮	→	沖津宮
中津宮	→	中津宮	→	中津宮
辺津宮	→	辺津宮	→	辺津宮
・津屋崎古墳群(60基)		・津屋崎古墳群(60基)		・津屋崎古墳群
新原・奴山古墳群(41基)	→	新原・奴山古墳群(41基)	→	新原・奴山古墳群(41基)
宮地嶽古墳	→	宮地嶽古墳		
勝浦高原古墳群(2基)	→	勝浦高原古墳群(2基)		
勝浦峯ノ畑古墳	→	勝浦峯ノ畑古墳		
勝浦井ノ浦古墳	→	勝浦井ノ浦古墳		
生家大塚古墳	→	生家大塚古墳		
大石岡ノ谷古墳群(2基)	→	大石岡ノ谷古墳群(2基)		
須多田上ノ口古墳	→	須多田上ノ口古墳		
須多田天降天神社古墳	→	須多田天降天神社古墳		
須多田下ノ口古墳	→	須多田下ノ口古墳		
須多田ミソ塚古墳	→	須多田ミソ塚古墳		
須多田ニ夕塚古墳	→	須多田ニ夕塚古墳		
在自剣塚古墳	→	在自剣塚古墳		
官司井手ノ上古墳	→	官司井手ノ上古墳		
手光波切不動古墳	→	手光波切不動古墳		
手光湯ノ浦古墳群(3基)	→	手光湯ノ浦古墳群(3基)		
・桜京古墳	→	・桜京古墳		
・東郷高塚古墳	→	・東郷高塚古墳		
		・田熊石畑遺跡		